

門的な知識をもったカウンセセラ  
ーを有効に活用していきたい。  
問 保護者と地域、学校が一体  
となって、いじめを予防する環  
境づくりについて問う。

答 家庭、学校、地域社会など、  
全ての関係者がそれぞれの役割  
を果たし、一体となって真剣に  
取り組むことが必要である。

### 医療費適正化事業について

問 本市における医療費適正化  
事業の進捗状況と、今後の取り  
組み「ジェネリック医薬品使用  
促進通知サービス」の導入、レ  
セプトデータを活用した健康寿  
命の延伸と国民健康保険の健全  
運営について問う。

答 特定健康診査率60%、特定  
保健指導実施率45%の目標達成  
に向け、次期計画の策定の準備  
を進めている。ジェネリック医  
薬品使用促進のため、刈谷市と  
歩調を合わせ刈谷医師会に協力  
を求めている。本市のレセプト  
データの活用は、ようやくスタ  
ート地点に立ったところだ。  
医療費の適正化に努め、国保  
財源の健全運営を図ることは、  
保険者の責務であり、費用対効  
果が見込まれる実施可能な事業  
は積極的に対応してまいりたい。



幸前 信雄 議員

### 「学校評価事業」「保育園 での待機児童」について

問 「学校評価事業」を導入し  
た狙いは。

答 各学校が、自らの教育活動、  
学校運営について目標を設定し、  
活動することにより、継続的な  
改善を図ること。学校、家庭、  
地域の連携協力による学校づく  
りを進めること。学校評価の結  
果に応じて、学校に対する支援  
や条件整備等の改善処置を講ず  
ること。

問 今後の取り組みは。

答 本年度スタートした教育基  
本構想の推進を高浜教育の柱と  
位置づけ、十二年間の学びを踏  
まえた指導法の改善や教材開発  
を内容とする「幼・保・小・中  
一貫教育の創造」。学校・家庭  
・地域の連携、協働は、いじめ  
不登校などの予防、解決におい  
て重要であり、「学校評価事  
業」は、その実現に重要なツ  
ールである。

問 高浜市の保育園待機児童数  
の状況は。

答 待機児童数が、平成21年12  
人、22年14人、23年23人、本  
年4月が47人と大幅に増加。本  
年8月1日では、51人。

問 待機児童数増への対応方法  
は。

答 民間保育所も公立保育園も  
通常、最低基準より余裕ある人  
数を定員として定員の20%まで  
の園児受け入れが可能。民間園の  
み弾力運用していたものを公立  
保育所での弾力運用を検討。家  
庭的保育所を来年度もう一箇所  
開設できるように検討。中・長  
期的には、公立幼稚園で現在2  
02人の定員割れとなっており  
「子ども・子育て関連3法」の  
具体的な内容を確認してから、  
公立幼稚園の認定子ども園化に  
より対応していきたい。

問 幼稚園を認定子ども園移行  
に対する課題は。

答 3歳未満児を受け入れるに  
は、自園調理することが必要と  
され、給食設備が問題となるの  
で、認定子ども園に移行した幼  
稚園では、3歳以上の幼児教育  
と保育を実施する施設として対  
応していきたい。

### 教育行政と子育て新システ ム修正案の影響について



内藤 とし子 議員

問 「いじめをしない、見逃さ  
ない、させない」の3ない運動  
に取り組んでいるところもある。  
高浜市はいじめのない安全で健  
康な学校づくりのためにどのよ  
うな取り組みをしているのか。

答 市内の小中学校でのいじめ  
は、毎年行なっているアンケ  
トによれば、2008年度が5  
件、09年度が9件、10年度が2  
件であり少ない。各校の早期発  
見、早期対応の努力が成果を挙  
げていると考えている。いじめ  
は「どの子にもどの学校におい  
ても起こりえるもの」という基  
本的認識の確認と、弱いものへ  
のいじめは人間として許されな  
いもので引き続き早期発見、早  
期対応の努力をしていきたい。  
問 夏休みの取り組みで特に小  
学校でのプール開放の期間が以  
前と比べると短くなっているよ  
うであるがなぜか。港小学校で  
は夏休みが終わるまでプール開